

大田原市生活排水処理構想

計 画 説 明 書

令和5年3月

栃木県大田原市

## 目 次

第1章	基本事項の整理	1
1.1	生活排水処理構想見直しの背景と目的	1
1.2	基本方針	2
第2章	基礎調査	5
2.1	市の概要調査	5
2.1.1	汚水処理施設の整備の現況と関連計画の策定状況	5
2.1.2	人口、家屋数の現況と見通し	11
2.1.3	水環境の現況等	12
2.1.4	土地利用の現況と見通し	14
2.1.5	地理的、地形的特性	15
2.2	構想に用いるフレーム値等の予測	16
2.2.1	行政人口	16
2.2.2	世帯数	21
2.2.3	計画汚水量原単位	23
第3章	検討単位区域の設定	29
3.1	検討単位区域の設定方法	29
3.2	経済比較に用いる基礎数値	30
3.3	既整備区域等の設定	32
3.3.1	既整備区域等の把握	32
3.3.2	周辺家屋の取り込み等による既整備区域等の設定	33
3.3.3	既整備区域等以外の検討単位区域の設定	37
第4章	処理区域の設定	45
4.1	比較検討の判定に用いる指標	45
4.2	検討単位区域毎の将来人口等の設定	48
4.3	接続判定	50
第5章	整備・運営管理手法の選定	53
5.1	下水道等の種類および採択基準	53
5.2	整備手法の選定	56
5.3	事業間連携の検討	57

第6章	汚泥処理の方針	58
6.1	汚泥処理の方針	58
第7章	維持管理の方針	59
7.1	維持管理の方針	59
第8章	段階的整備の方針	60
8.1	概算事業費の算出	60
8.2	事業の優先順位	60
8.3	段階的整備スケジュールの設定	60
第9章	住民の意向の把握	64
9.1	住民意向の把握	64
第10章	大田原市生活排水処理構想の策定	65
10.1	生活排水処理構想の概要	65
10.2	まとめ	67